学校通信

4月号

2023 (令和5) 年 4月6日

椙山女学園大学附属小学校

新年度のスタートにあたって

校長相川保敏

★ お子様の入学・進級おめでとうございます。



今年は3月から暖かい日が続き、正門の桜も入学式、始業式には、花より葉の方が多くなってしまいました。この写真は3月29日に撮影したものです。青空に、咲き誇る桜がとてもきれいでした。残念なが

ら、満開の桜を子どもたちは見ることができませんでした が、来年度は満開の桜の下を通って式を迎えられることを 願っています。

さて、新年度に当たり、今年度の方針を述べさせていた だきます。

一つ目は、今後の新型コロナウイルス感染症の対策についてです。春休み号でお伝えいたしましたように、4月から学校現場においても新型コロナウイルス感染症の対策が緩和されました。必要最小限の感染対策を講じて、基本的にマスクの着用は求めないこととします。具体的には、感染リスクの比較的高い学習活動(少人数でのグループ学習、合唱やリコーダー等の演奏、調理実習、組み合ったり接触したりする運動など)において、学習活動に支障のない範囲で身体的距離を取ることや効果的な換気を実施していく程度とします。子どもたちにも、マスク着用の考え方の見直しについてきちんと説明して、混乱のないように配慮してきます。その際、子どもたちの意思を尊重し、マスクの着脱を強いることはしません。ただし、混雑時の公共交通機関を利用する場合はマスクの着用を推奨していきます。

また、全校が集まる朝会や集会活動等は、この3年間、 校内放送や Zoom でしか行ってきていないので、子どもた ちが違和感なく取り組めるよう段階的に実施していきま す。そして、5月20日の運動会では全校児童が揃って、演 技をしたり応援したりできるようにしていきたいと考えています。保護者の皆様のご理解とご協力をいただきながら、進めてまいりたいと存じます。

二つ目は、本校の教育活動の再構築についてです。本校では、教育理念「人間になろう」の下で、校訓「強く・明るく・美しく」を踏まえ、様々な教育活動を実施してまいりました。近年はこれからの時代に必要となる

- ★ 自ら課題を見つけ、解決に向けて行動できる力
- ★ 社会・世界に関わり、よりよい人生を送る力
- ★ よりよい社会・世界を形成する力

を子どもたちの育成の指標として、教育活動の改善を進めてきたところです。3月に行いました保護者アンケートでは、96%の方が本校の教育活動に満足(大いに満足・概ね満足を含む)していただいておりますが、教師側から見ると、コロナ禍で活動が制限されたり実施できなかったりしたことにより、子どもたちの活動意欲やコミュニケーション力が低下しているととらえています。教育活動の本格的な再開に向けて、こうした課題を踏まえつつ、大学の附属小学校としての特色をさらに生かしていけるように教職員全体で昨年末から検討してきました。そして、本年度は「本物」「選択」「連携」の三つのキーワードから見直しをかけていくこととしました。

本物一本物を見る、触れる、体験する活動を増やしていきます。その際に、学校でしかできない仲間と関わりを大切にしていきます。

選択-子どもたちの活動意欲を高め、自身のコントロール感をもたせる「選択」の場面を増やしていきます。

連携 一大学の先生と連携して新たな教科指導の形を見出していきます。

今後学校通信を通じて、進捗状況を適宜お伝えしていく 予定です。本年度も本校教育にご支援、ご協力を賜ります ことをお願い申し上げます。

参考文献 The Self-Driven Child ウィリアム・スティクスラット・ナネット・ジョンソン NTT 出